

# 宇治市自殺対策計画 推進のめやす

---

第3回改訂版  
(令和6年2月)



## 「自殺対策計画 推進のめやす」について

令和2年3月に策定した、「宇治市自殺対策計画」は、その進行管理と評価を、「宇治市地域福祉推進計画」と併せて行うこととしています。

「宇治市地域福祉計画」では、5つの地域福祉推進のプログラムに位置付けられた46の事業について、事業の概要・成果・実績・来年度以降の見込・評価等をまとめた「地域福祉推進のプログラム<推進のめやす>」を作成し進行管理を行っていることから、「宇治市自殺対策計画」においても同様の手法を用いることとし、次の通り「自殺対策計画 推進のめやす」を作成します。

### ① 索引

宇治市自殺対策計画第4章「自殺対策の取り組み」に掲載されている具体的な取り組みの一覧です。

このうち、「地域福祉推進のプログラム<推進のめやす>」に位置付けられている事業については、掲載事業名や掲載ページを記載しています。

「自殺対策計画 推進のめやす」による進行管理は、「地域福祉推進のプログラム<推進のめやす>」に位置付けられていない事業、または、事業は掲載されているが、別途「自殺対策計画推進のめやす」で進行管理が必要な事業について行います。

その事業が「自殺対策計画推進のめやす」の何ページに掲載されているかを記載しています。

その事業が、「地域福祉推進のプログラム<推進のめやす>」に位置づいているかを示しています。

- ・空欄…「地域福祉推進のプログラム<推進のめやす>」での位置付けなし
- ・○…「 同上 」に位置付けあり
- ・(○) …「 同上 」に、その事業を含む事業が掲載されているが、別途「自殺対策計画推進のめやす」で進行管理が必要な事業。

「地域福祉推進のプログラム<推進のめやす>」での掲載事業名です。自殺対策計画掲載事業名と異なる場合があります。

No.	「自殺対策計画」主な事業・取組	担当課	頁	地域福祉計画	地域福祉計画「推進のめやす」掲載事業名	地域福祉計画推進のめやす担当課	頁
<b>基本施策4 希望を持って生きることができるまちづくりの推進</b>							
<b>(4)高齢者への支援</b>							
41	地域リハビリテーション活動支援事業	長寿生きがい課	17				
42	介護給付	介護保険課	17				
43	介護予防・生活支援サービス事業(訪問介護相当サービス、生活支援型訪問サービス、通所介護相当サービス、短時間型通所サービス)	介護保険課	17				
44	緊急通報装置(シルバーホン)の設置	長寿生きがい課	17	○	緊急通報装置(シルバーホン)の設置	長寿生きがい課	33

例えば・・・

「地域福祉推進のプログラム<推進のめやす>」での事業掲載ページです。

事業No.44 長寿生きがい課が所管する事業の「緊急通報装置（シルバーホン）の設置」は「自殺対策計画推進のめやす」17 ページに事業名が掲載されており、「地域福祉推進のプログラム<推進のめやす>」に位置付けられているので、具体的な事業の実績や今後の見込みについては「地域福祉推進のプログラム<推進のめやす>」33 ページで確認することができます。

② 「自殺対策計画推進のめやす」本編

宇治市自殺対策計画第4章「自殺対策の取り組み」に掲載されている具体的な取り組みについて、令和4年度の成果・実績、令和5年度・令和6年度の実施見込みを記載しています。

索引で「○」または「(○)」で表していた、「地域福祉推進のプログラム<推進のめやす>」での位置付けについては、めやす本編では、「**地**」として表示しています。

**評価について**

(1) 目的

「地域福祉推進のプログラム<推進のめやす>」と同様に、「自殺対策計画 推進のめやす」に掲載している事業における成果と課題の整理を行うことを目的とし、行政が実施主体である事業について内部評価を行う。

(2) 評価の考え方

宇治市自殺対策計画に関連する事業の実施状況から、同計画に位置づけられた“自殺対策の取り組み”をどれくらい達成できたかを判断します。

また、「自殺対策計画推進のめやす」にて進行管理を行わず、「地域福祉推進のプログラム<推進のめやす>」にて進行管理を行う事業は、事業実施状況や見込の記載を省略しています。

(3) 評価指標

F (Finish)	事業の目的を達成したため終了した。
A	計画的に事業を実施しており、引き続き充実を図る。
B	事業は継続するが、新たな課題等への対応が必要。
C	ニーズを勘案し、事業の縮小、休廃止に向けた見直しが必要。
D	一時休止、保留などの事業。
— (ハイフン)	隔年等で実施するため、評価対象年度の実績がない。

前年度における成果と実績を記載しています。

評価時点での今後2年間の見込みを記載しています。

宇治市 地域福祉課 ほか	<b>地</b> 街頭啓発等の実施	街頭での啓発活動や、各種講演・セミナー等での啓発チラシ等の配付、市内公共施設等への自殺対策関連ポスター掲示・リーフレットの配布を行うなど、自殺予防に関する啓発や相談窓口の周知に努めます。			
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	市内公共施設に、こころの相談窓口の周知チラシを配架		・京都府と共同で、啓発物品の配付 ・自殺対策関連のチラシの配付	・京都府と共同で、啓発物品の配付 ・自殺対策関連のチラシの配付	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	周知チラシを作成し、相談窓口の周知啓発を推進することができた。				

評価指標に基づく評価を記載しています。

評価に対する説明を記載しています。課題がある場合は課題を記載しています。

第4章 自殺対策の取り組み

2 具体的な取り組み

<b>基本施策1</b>	<b>つながり支え合うネットワークの強化</b>
<p>自殺対策の推進にあたっては、行政をはじめ、地域で活動している団体や、企業・事業所、そして市民一人ひとりが連携・協働して総合的に推進することが求められます。                  そのために、医療、福祉、教育など様々な領域において、悩みや問題を抱える人を支えるための体制の強化や関係機関、団体等との連携を進め、自殺対策のネットワークが有効に機能するよう取り組んでいきます。</p>	

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 関係各課	関係機関・団体等との連携	子育て世代包括支援センター、地域子育て支援拠点、男女共同参画支援センター、地域包括支援センター等の各センター機能及び、「宇治市いじめ防止対策連絡会議」、「DV防止対策委員会(DV対策ネットワーク会議)」、「地域包括ケア会議」、「小地域包括ケア会議」等のネットワークを通じ、地域の団体や市民との情報交換や連携を図りながら、悩みや問題を抱える人を支え、自殺予防につながる体制の整備を図るとともに、ネットワーク機能の充実に取り組みます。また、民生児童委員や社会福祉協議会、学区福祉委員会等との連携及び、保健所、児童相談所など関係する府機関や医療機関との連携も強化していきます。			
		◆成果・実績及び見込			
		2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
		民生児童委員に配布している「宇治市民生児童委員活動の目安と考え方Q&A」に、こころの相談窓口について掲載し、周知・啓発を行った。必要に応じ関係機関・団体等と連携した。	継続して関係機関・団体等との連携を図ると共に、ネットワーク機能の充実に取り組む。	継続して関係機関・団体等との連携を図ると共に、ネットワーク機能の充実に取り組む。	
		◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明				
A	民生児童委員に対して自殺に関する周知・啓発を行った。				
宇治市 地域福祉課	<span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">地</span> 自殺対策庁内推進体制の構築	庁内に市長を本部長とする(仮称)宇治市自殺対策推進本部及び課長級で組織する庁内連絡会議を設置し、本市の自殺対策に関する情報共有や協議を行うとともに、各部署・学校等との連携を強化して、自殺対策を推進します。			
		◆成果・実績及び見込			
		2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
		自殺対策推進本部会議および、庁内連絡会議の開催はなかった。	地域福祉の推進および自殺対策の推進の両方の面で庁内連携の強化を図る。 ・自殺対策推進本部会議1回 ・庁内連絡会議1回	地域福祉の推進および自殺対策の推進の両方の面で庁内連携の強化を図る。 ・自殺対策推進本部会議1回 ・庁内連絡会議3回	
		◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明				
B	必要に応じ自殺対策推進本部会議および、庁内連絡会議を開催する。				

## 基本施策2 寄り添い支える人材の育成と相談機能の充実

自殺対策においては、様々な悩みや生活上の困難を抱える人への早期の「気づき」が重要であり、「気づき」のための人材育成を行う必要があります。自殺のサインに気づき、声をかけ、話を聞き、必要に応じて専門機関等につなぐなど、寄り添い支える人材の育成を図るとともに、各相談窓口において適切な対応を行えるよう取り組みを進めていきます。

### <具体的な取り組みの実施状況>

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 地域福祉課	<span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">地</span> 福祉事業従事者や市民を対象とした研修の実施	宇治市民生児童委員協議会や宇治市社会福祉協議会等と連携して、地域福祉活動に携わる方や関心のある方、福祉事業従事者など、より多くの市民の方に、悩みを抱える人に寄り添い支えるための研修に参加してもらえるよう取り組みを進めていきます。			
		◆成果・実績及び見込			
		2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
		宇治市ゲートキーパー入門講座 令和5年2月4日 参加人数:21人	福祉事業従事者や市民を対象とした研修を実施	福祉事業従事者や市民を対象とした研修を実施	
		◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明				
A	市民を対象としたセミナーを行い、自殺対策に向けた啓発を図ることができた。				
宇治市 地域福祉課 ほか	市役所等の窓口での対応	市役所等の窓口で自殺につながるような言葉があった場合や、関係者や第三者から相談を受けた場合には、自殺相談窓口(京都いのちの電話、京都府自殺ストップセンター等)につなぐなど適切な対応ができるよう、自殺予防の基礎知識や自殺相談窓口の情報の共有を図るとともに、マニュアル等の整備について検討していきます。			
		◆成果・実績及び見込			
		2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
		市の各課相談窓口や市内公共施設に、こころの相談窓口の周知チラシを配付し、各窓口において、適切な対応ができるように、情報を共有した。各課窓口で、自殺リスクに気づき、適切な対応をとってもらうよう周知・啓発を行った。	引き続き、必要な情報の共有を図る。	引き続き、必要な情報の共有を図る。	
		◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明				
A	周知チラシを作成し、相談窓口の周知啓発を推進することができた。				
宇治市 地域福祉課 ほか	<span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">地</span> 市職員を対象とした研修の実施	市役所等の窓口で対応を行う職員が、自殺について正しく理解するとともに、悩みを抱えた人に「気づき」、適切な対応ができるよう研修に取り組みます。			
		◆成果・実績及び見込			
		2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
		行政職員(管理職)を対象としたセミナーを実施しなかった。	市職員向けの研修を実施	市職員向けの研修を実施	
		◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明				
B	令和3年度に行政職員(管理職)を対象としたセミナーを実施したため、令和4年度は実施しなかったが、今後は毎年実施が必要である。				

<b>宇治市 教育関係 各課</b>	<b>教職員を対象とした研修の実施</b>		子どもの変化や悩みに早期に気づき、適切に対応できるよう教職員研修に取り組むとともに、教育相談担当者の育成を図ります。			
	◆成果・実績及び見込					
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)		
	各小中学校の生徒指導担当教諭に対して、教育支援課在籍の経験豊富な小中学校の元校長から生徒指導の助言、指導を行った。 また不登校対策では、教育相談担当者連絡会、事例研究セミナー及び初任者研修を実施。		継続実施	継続実施		
	◆2022年度(令和4年度)の評価					
	評価	評価に対する説明				
A	教育支援課在籍の経験豊富な小中学校の元校長から生徒指導の助言、指導を行う事ができた。					

## 基本施策3 市民への啓発と周知

自殺に追い込まれるという危機は、誰もが直面し得ることであることから、自殺に対する誤った認識や偏見を払拭するよう、市民の理解を促進するとともに、自殺予防や心の健康などについての正しい知識の普及啓発を図ります。

また、命や暮らしの危機に陥った場合には、誰かに援助を求めるという考え方を普及させることで、自分の周りにいるかもしれない自殺リスクを抱えている人の存在に気づき、必要に応じて専門家につなぎ見守っていくという役割を市民一人ひとりが意識できるよう、広報活動等を通じた取り組みを進めていきます。

### ① 広報を通じた啓発と周知

#### <具体的な取り組みの実施状況>

実施主体・担当課	事業	事業概要		
宇治市 地域福祉課 ほか	<b>地</b> 市政だよりやホームページ等への掲載	自殺予防週間や自殺対策強化月間等にあわせて、自殺対策に関する記事を市政だよりに掲載するとともに、ホームページ等を活用し、自殺予防に向けた啓発と相談窓口等の周知を行います。		
	◆成果・実績及び見込			
		2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)
	自殺予防週間、自殺対策強化月間等にあわせて、市政だよりとホームページに自殺対策に関する記事を掲載した。 【掲載状況】 ・市政だより、HPへの啓発記事掲載(年3回)及びFMうじでの広報 市政だより 9月1号「9月10日～16日は自殺予防週間」 1月1日号「ゲートキーパー入門講座」 3月1日号「3月は自殺対策強化月間です」 ・市内3図書館での図書展示(9月・3月) ・自殺相談窓口等を掲載した啓発・周知チラシの作成、配付	自殺予防週間、自殺対策強化月間等にあわせて、年3回市政だよ及びホームページに自殺対策に関する記事を掲載する。	自殺予防週間、自殺対策強化月間等にあわせて、年3回市政だよ及びホームページに自殺対策に関する記事を掲載する。	
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	市政だよりおよび市ホームページに啓発記事を掲載し、自殺予防に向けた啓発と相談窓口等の周知を行うことができた。			
宇治市 地域福祉課 ほか	くらしの便利帳等への掲載	市の窓口、業務内容、各種手続等にかかる行政情報ならびに地域の生活情報等を掲載している情報誌(くらしの便利帳、男女共同参画情報誌や労政ニュース等)に自殺予防に関する啓発記事や相談窓口等の情報を掲載し、周知を図ります。		
	◆成果・実績及び見込			
		2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)
	くらしの便利帳に、こころの悩み相談の窓口について情報を掲載 (京都府自殺ストップセンター、京都いのちの電話)	各情報誌に自殺予防や相談窓口の情報を掲載する	各情報誌に自殺予防や相談窓口の情報を掲載する	
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	くらしの便利帳に相談窓口について掲載し、周知啓発を図ることができた。			

②イベント等の機会を通じた啓発と周知

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体・担当課	事業	事業概要		
宇治市 地域福祉課 男女共同参画課 ほか	<b>地</b> 自殺対策関連講座の開催	自殺対策強化月間などに、ストレスへの対処法や相談機関の紹介等、自殺予防に向けたセミナー等を開催するとともに、機会の充実に努めます。		
	◆成果・実績及び見込			
	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	・地域福祉課、男女共同参画課の連携により、臨床心理学部准教授を講師として、自殺対策強化月間に合わせ「うつ」「依存」との上手なつきあい方をテーマとしたセミナーを開催した。併せて、困難を抱える男性には「男性のための電話相談」を促し、女性には「女性のための相談」の一般相談を、その後、必要に応じて専門相談(フェミニストカウンセリング等)につなげた。 令和5年3月26日(日)	自殺対策関連セミナーの継続実施及び機会の充実	自殺対策関連セミナーの継続実施及び機会の充実	
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	セミナーを実施し、自殺対策に向けた啓発を行うことができた。			
宇治市 地域福祉課	<b>地</b> 地域支え合い出前講座での周知	地域福祉に関する出前講座の中で、自殺予防やゲートキーパーなどについて周知・啓発を行います。		
	◆成果・実績及び見込			
	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	団体等からの要請があり、出前講座1回実施した。	団体等からの要請に基づき随時実施 ・出前講座 1回	団体等からの要請に基づき随時実施 ・出前講座 1回	
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	出前講座を実施し、市民への啓発が行えた。			



宇治市 中央図書館 東宇治図書館 西宇治図書館	地 市図書館での周知・啓発		自殺予防週間及び自殺対策強化月間などに、自殺予防関連図書の展示及び貸出を実施します。			
	●中央図書館					
	◆成果・実績及び見込					
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)		
	自殺予防週間、自殺対策強化月間に合わせ、自殺予防関連図書の展示及び貸出を実施 【実施状況】 ・9/6～9/19 自殺予防週間に合わせ、自殺予防関連図書の展示 自殺予防週間協賛展示「自分の心と向き合って」 ・3/14～3/19 自殺対策強化月間に合わせ、自殺予防関連図書の展示 自殺対策強化月間協賛展示「あなたに寄り添う本たち」		自殺予防週間及び自殺対策強化月間に合わせ、自殺予防関連図書の展示及び貸出を実施する。	自殺予防週間及び自殺対策強化月間に合わせ、自殺予防関連図書の展示及び貸出を実施する。		
	◆2022年度(令和4年度)の評価					
	評価		評価に対する説明			
	A		予定どおり事業を実施することができた。			
	●東宇治図書館					
	◆成果・実績及び見込					
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)		
	自殺予防週間、自殺対策強化月間に合わせ、自殺予防関連図書の展示及び貸出を実施するとともに、市政だより、図書館ホームページ、図書館Facebookによる広報を実施。 ・9/6～9/19 自殺予防週間に合わせ、自殺予防関連図書の展示 「まもろうよ ころろ」 ・3/14～3/19 自殺対策強化月間に合わせ、自殺予防関連図書の展示 「ひとりで 悩まないで」		自殺予防週間及び自殺対策強化月間に合わせ、自殺予防関連図書の展示及び貸出を実施する。	自殺予防週間及び自殺対策強化月間に合わせ、自殺予防関連図書の展示及び貸出を実施する。		
	◆2022年度(令和4年度)の評価					
評価		評価に対する説明				
A		予定どおり事業を実施することができた。				
●西宇治図書館						
◆成果・実績及び見込						
2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)			
自殺予防週間、自殺対策強化月間に合わせ、自殺予防関連図書の展示及び貸出を実施 ・9/1～9/15「聞かせてくださいあなたの心の声」 自殺予防週間に合わせ自殺予防関連図書の展示及び貸出を実施 ・3/14～3/19「あなたの笑顔が見たい」 自殺対策強化月間に合わせ自殺予防関連図書の展示及び貸出を実施		自殺予防週間及び自殺対策強化月間に合わせ、自殺予防関連図書の展示・貸出を実施する。	自殺予防週間及び自殺対策強化月間に合わせ、自殺予防関連図書の展示・貸出を実施する。			
◆2022年度(令和4年度)の評価						
評価		評価に対する説明				
A		予定どおり事業を実施することができた。				

宇治市 地域福祉課 ほか	<b>地</b> 街頭啓発等の実施		街頭での啓発活動や、各種講演・セミナー等での啓発チラシ等の配付、市内公共施設等への自殺対策関連ポスター掲示・リーフレットの配布を行うなど、自殺予防に関する啓発や相談窓口の周知に努めます。			
	◆成果・実績及び見込					
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)		
	市内公共施設に、こころの相談窓口の周知チラシを配架		・京都府と共同で、 啓発物品の配付 ・自殺対策関連のチ ラシの配付	・京都府と共同で、 啓発物品の配付 ・自殺対策関連のチ ラシの配付		
	◆2022年度(令和4年度)の評価					
	評価	評価に対する説明				
A	周知チラシを作成し、相談窓口の周知啓発を推進することができた。					

<b>基本施策4 希望を持って生きることができるまちづくりの推進</b>
<p>全ての人が健康で生き生きと暮らせるよう施策の充実を図るとともに、「生きづらさ」を抱えた人が、社会から孤立することなく必要な支援を受けることができるよう、それぞれの状況に応じた支援体制を整備します。また、サークル活動やサロン活動（注1）等の市民活動においても、誰もが参加しやすい環境を整えていくことは、社会参加を促進するうえで重要であり、市民と協働して取り組みを進めます。</p> <p>（注1）地域で生き生きと暮らせることを目的に、地域を拠点として住民主体で運営される交流や仲間づくりの場</p>

**(1)健康づくり**

健康教育や健康相談等に取り組むとともに、健康づくりや食育活動に取り組む団体等と協働して、市民の健康づくりを推進します。

＜具体的な取り組みの実施状況＞

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 健康づくり 推進課	<b>健康づくり・食育推進事業</b>	宇治市健康づくり・食育推進計画に基づき、生活習慣等の改善を推進し、また、関係団体等とも連携をとりながら、各種施策を推進します。			
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)		
	「宇治市健康づくり・食育推進計画」の基、基本目標「市民とまちが取り組む 健康長寿日本一」の実現に向けて、市民の健康づくり及び食育を推進していくため、7月及び3月に協議・検討を行った。	宇治市健康づくり・食育推進計画の基で実施。次期計画策定に向け、協議・検討を行う。	宇治市健康づくり・食育推進計画の基で実施。次期計画策定に向け、協議・検討を行う。		
	◆2022年度(令和4年度)の評価	評価に対する説明			
評価	B 「宇治市健康づくり・食育推進計画」に基づき、概ね計画通り実施している。次期計画策定に向けて協議委員会へ令和5年度からのスケジュールを共有した。				
宇治市 健康づくり 推進課	地 健康づくり・食育アライアンス事業	地域福祉推進のプログラム	位置付け	ページ	事業名(担当課)
			1 - (2) - 3	P.5	健康づくり・食育アライアンス事業(健康づくり推進課)
宇治市 健康づくり 推進課	地 健康教育	地域福祉推進のプログラム	位置付け	ページ	事業名(担当課)
			1 - (2) - 3	P.5	健康教育・健康相談(健康づくり推進課)
宇治市 健康づくり 推進課	地 健康相談	地域福祉推進のプログラム	位置付け	ページ	事業名(担当課)
			1 - (2) - 3	P.5	健康教育・健康相談(健康づくり推進課)

(2) 子ども・若者への支援

悩みを抱えた子ども・若者が一人で問題を抱え込まず、相談や支援を求められるような環境づくり等に取り組みます。

○子どもが相談や支援を求めやすい環境づくり

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体・担当課	事業	事業概要		
宇治市 こども福祉課	こども家庭相談	専門相談員を配置し、子育てのこと、子どもの友人関係や学校でのことなど、18歳未満の子どもと家庭にかかわる相談を受け付けます。また、児童虐待の通告や対応の相談を受け付けます。		
	◆成果・実績及び見込	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)
		児童相談所と連携した児童虐待への対応、18歳未満の子どもと家庭に関わる相談業務、支援を要する児童や特定妊婦等の状況を把握した上での家庭支援を行った。また、ヤングケアラーコーディネーター1名を新たに配置し、個別の実態調査、支援へのつなぎを行うとともに相談窓口(通称:いいやん)を設置し、相談対応を行った。	継続実施	継続実施
	◆2022年度(令和4年度)の評価	評価に対する説明		
	A	「子ども家庭総合支援拠点」として体制を強化し、児童相談所及び関係機関との連携強化に努めるとともに、研修会の開催及び広報・啓発活動などを通じ、児童虐待の対応やヤングケアラーの早期発見等の対応を行った。今後は介護保険事業所など関係機関との連携強化に努める。		
宇治市 教育支援課	教育相談事業	保護者や児童生徒のいじめや不登校などの教育上の悩みや心配事などに関する相談を対面及び電話で受け付け、問題の解決を図ります。また、スクールカウンセラーの活用により、学校相談機能の充実を図ります。		
	◆成果・実績及び見込	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)
		各学校では、教育相談担当教諭を決め、校内の教諭や管理職、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等と連携しながら相談に対応する。市教委Ujiふれあい教室では、当教室に関連した不登校の悩み、心配事に対応し、支援する。 また、府費にはなるが、市内全小・中学校でスクールカウンセラーの活用ができるよう体制が生まれ、児童生徒の心の相談、ケアを実施された。	継続実施	継続実施
	◆2022年度(令和4年度)の評価	評価に対する説明		
	A	各学校においてスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等と連携し、教育上の悩みや心配事などに関する相談をする事ができた。		
宇治市 教育支援課	心と学びのパートナー派遣事業	心理学等を学ぶ大学院生を中学校に配置し、不登校傾向にある生徒の話し相手や学習支援等を行うことで、生徒の自立支援を行います。		
	◆成果・実績及び見込	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)
		別室登校や不登校傾向の生徒の悩みに気軽に応じる相談員として、生徒が身近に感じる大学(院)生、教員志望者等の若い世代、若しくは教職経験者などの「心と学びのパートナー」を6中学校に派遣した。 対応延べ人数 950人	継続実施 (京都府心の居場所サポーター未配置校に派遣する)	継続実施 (京都府心の居場所サポーター未配置校に派遣する)
	◆2022年度(令和4年度)の評価	評価に対する説明		
	A	生徒が悩みを気軽に相談できる、若い世代等の相談員を配置し、関係機関等と連携しながら問題行動及び不登校の未然防止を図った。今後も不登校対策事業全体の中で、体系的な事業効果の向上に努める必要がある。		

宇治市 学校教育課 教育支援課	こころの教育		児童生徒が様々な困難やストレスに直面したときに、助けの声をあげることができるよう、保健体育や道徳などの時間を利用して、SOSの出し方やいのちに関わるテーマなど、こころの健康につなげる教育を実施します。			
	◆成果・実績及び見込					
	2022年度 成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)		
	「いのちとこころのコミュニケーション事業」等の出前授業を実施し、いのちの大切さやストレス回避の方法について学んだ。		継続実施	継続実施		
	◆2022年度(令和4年度)の評価					
評価		評価に対する説明				
B		出前授業を実施し、いのちの大切さやストレス回避の方法について学ぶ事ができた。より多くの学校で実施する必要がある。				
宇治市 教育支援課	スクールソーシャルワーカー 活用事業		スクールソーシャルワーカーが課題を抱える児童生徒の置かれている状況を把握し、適切な相談窓口につなぎます。			
	◆成果・実績及び見込					
	2022年度 成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)		
	児童生徒、保護者が抱えている課題解決に向けて福祉関係機関をはじめとした外部機関との連携についてスクールソーシャルワーカーから指導助言を得て課題解決への支援を実施できた。		継続実施	継続実施		
	◆2022年度(令和4年度)の評価					
評価		評価に対する説明				
A		スクールソーシャルワーカーから指導助言を得て課題解決への支援を実施できた。更なる学校との連携が望まれる。				
宇治市 教育支援課	地 不登校児童生徒支援事業	地域福祉推進 のプログラム	位置付け	ページ	事業名(担当課)	
			5 - (1) - 42	P.48	不登校児童生徒支援事業 (教育支援課)	

○子どもの見守り

＜具体的な取り組みの実施状況＞

実施主体・担当課	事業	事業概要		
宇治市 人権啓発課 教育支援課	<b>いじめ防止対策の推進</b>	宇治市いじめ防止基本方針を基に、各校で「いじめ防止方針」を策定し、いじめの早期発見や早期対応に取り組みます。		
	◆成果・実績及び見込			
	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	宇治市いじめ防止基本方針に基づき、各小中学校で組織的にいじめ防止に取り組む。また、いじめの未然防止、早期発見の為、年間で3回のいじめアンケートを実施する。 あわせて、いじめ防止対策連絡会議を開催し、各小中学校におけるいじめの状況について報告するとともに、各機関・団体の取り組みについて情報提供及び意見交換を行った。	いじめ防止対策の推進	いじめ防止対策の推進	
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	いじめ防止対策連絡会議を開催し情報提供及び意見交換を適切に行った。また、いじめアンケートを実施し、いじめを未然防止する事ができた。			
宇治市 教育支援課	<b>学校支援チーム活動事業</b>	小中学校で起こる様々な困難事象に対して、学校支援チームでは、社会福祉士や精神科医、弁護士、臨床心理士などの専門的な知識を持った委員の助言や指導を受け、児童生徒や保護者への適切な支援を行うとともに、課題解決を図ります。		
	◆成果・実績及び見込			
	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	学校だけでは解決が困難な事象に対して、専門家を招いて、学校支援チーム会議を開催し、課題解決を図る事ができた。	継続実施	継続実施	
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	学校だけでは解決が困難な事象に対して、専門家を招いて、学校支援チーム会議を開催した。			
宇治市 教育支援課	<b>不登校児童生徒自立支援教室運営事業</b>	不登校児童生徒を対象にした教室を設置し、対象児童生徒に応じた学習・生活指導を行うことで、自動生徒の自立を支援します。		
	◆成果・実績及び見込			
	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	小学校3年生から中学校3年生までの不登校児童生徒に対して、個々の状況に応じて不登校児童生徒自立支援教室で受け入れ、学校、保護者、関係機関と連携を図り、社会的自立に向けて支援を行った。 在籍児童生徒数:32人(年度末) 改善状況:学校復帰6人 部分登校11人 好転12人 変化なし3人	継続実施	継続実施	
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	不登校児童生徒自立支援教室での支援・指導を通じ、不登校の児童・生徒の学校生活及び社会生活への復帰、社会的自立に向けての支援を行った。今後も学校及び関係機関との連携を強化し、効果的な運営に努める。			

宇治市 教育支援課	<b>少年補導活動</b>		宇治市少年補導委員による街頭補導活動や啓発活動等を通して、青少年の見守りと健全育成に取り組みます。			
	◆成果・実績及び見込					
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)		
	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、県祭りの街頭補導、地域懇談会、社会環境浄化活動などは中止を余儀なくされたが、ブロック補導をはじめ、年末の一斉補導活動、年始補導出発式は計画通り実施できた。また、不審者情報や爆破予告の情報を受け、青色防犯パトロールや各校区の少年補導委員ができる範囲でパトロールを実施した。		校区補導	校区補導		
	◆2022年度(令和4年度)の評価					
評価		評価に対する説明				
B		徐々に事業や取組が再開される中で、各委員ができる範囲でパトロールをはじめとする活動を実施し、青少年の非行の未然防止に取り組むことができた。 今後とも、各種団体との協力を図りながら、引き続き青少年の健全育成に努める。				
宇治市 地域福祉課	<b>地 子どもの学習支援事業</b>		市内在住の中学生で、経済的な理由等で家庭での学習が困難な場合に、生徒の学習習慣の定着や家庭での学習力向上を目指し、学習機会を提供します。			
	◆成果・実績及び見込					
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)		
	市内2箇所で学習支援事業を実施する。  ①実施場所：総合福祉会館 実施法人：(社福)宇治市社会福祉協議会 定員：15名 事業利用者：17名 ②実施場所：大久保青少年センター 実施法人：(NPO)志塾フリースクールきょうと 定員：15名 事業利用者：19名  ※事業利用者数は令和5年3月31日時点		継続して事業を実施する。 ①実施場所：総合福祉会館 実施法人：(社福)宇治市社会福祉協議会 定員：15名 ②実施場所：大久保青少年センター 実施法人：(NPO)志塾フリースクールきょうと 定員：15名 ③実施場所：槇島コミュニティセンター(7月開所) 実施法人：I.S.学園・イング共同事業体 定員：15名	継続して事業を実施する。 ①実施場所：総合福祉会館 実施法人：(社福)宇治市社会福祉協議会 定員：15名 ②実施場所：大久保青少年センター 実施法人：(NPO)志塾フリースクールきょうと 定員：15名 ③実施場所：槇島コミュニティセンター 実施法人：I.S.学園・イング共同事業体 定員：15名		
	◆2022年度(令和4年度)の評価					
評価		評価に対する説明				
A		当初の目的は達成され、中学3年生は希望する高校へ進学できた。 しかし、利用が難しい地域も一部あるため、事業の拡充について引き続き研究していく。				

(3) 働く人への支援

市内企業への経営上のサポートや、情報提供を通じて、職場におけるメンタルヘルスやハラスメント対策の促進を図ります。

○働く人や地域の企業への支援

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体・担当課	事業	事業概要		
		位置付け	ページ	事業名(担当課)
宇治市 産業振興課	<b>地</b> 労政ニュース発行事業	地域福祉推進のプログラム	4 - (4) - 39	P.45 宇治労政ニュース発行事業 (産業振興課)
宇治市 産業振興課	<b>中小企業交流促進事業 (中小企業セミナー開催事業)</b>	販路拡大や付加価値の増加、新分野への進出や人材不足への対応に関するセミナーや交流会等を通じて、経営の安定と成長を支援します。		
	◆成果・実績及び見込			
	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	市内事業者の課題や要望をもとにしたテーマで、セミナーを13回、交流会を3回、イベントを1回開催した。	各種セミナー等を実施	各種セミナー等を実施	
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
<b>B</b>	事業者間の取引拡大等を目的としたセミナー及び交流会などの実施により、参加者同士で積極的にコミュニケーションを図り、事業のマッチング及び取引が成立するなど交流連携が強化された。事業連携及び新たな価値の創出に向けて、今後も引き続き効果の検証をしつつ、継続して実施していく必要がある。			
宇治市 産業振興課	<b>宇治市中小企業低利融資</b>	市内の中小企業者に対して、事業資金を低利で融資し、信用保証料や支払利子額の一部を補給する制度を設けることで、企業の負担を軽減し、経営の安定と成長を支援します。		
	◆成果・実績及び見込			
	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	市内の中小企業者に対して、事業資金を低利で融資し、信用保証料の2分の1と、支払利子額(2年間)を補給する。	市内の中小企業者に対して、事業資金を低利で融資し、信用保証料の2分の1と、支払利子額(2年間)を補給する。	市内の中小企業者に対して、事業資金を低利で融資し、信用保証料の2分の1と、支払利子額(2年間)を補給する。	
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
<b>A</b>	市内の中小企業者に対し、事業資金の低利融資や保証料・利子の補給等の補助を行うことにより、中小企業経営の安定化に努めることができた。			



## (3)働く人への支援

## ○職場におけるこころの健康づくり

## ＜具体的な取り組みの実施状況＞

実施主体・担当課	事業	事業概要		
宇治市 職員厚生課 教育総務課 ほか	市職員・教職員のメンタルヘルス及びハラスメント防止に関する取り組み	市役所では一事業所として、市職員や小中学校の教職員に対して、健康保持促進や疾病予防のための各種検診等を行うとともに、メンタルヘルスについての研修やストレスチェックなどを行い、メンタル不調の防止や早期発見・早期対応につなげます。 また、ハラスメント相談窓口の設置等を行い、ハラスメントのない職場環境を目指します。		
	●職員厚生課(市職員)			
	◆成果・実績及び見込			
	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	メンタルヘルス、ハラスメント対策等に対し、各種事業を実施した。 ①心の健康の保持増進の対応 ストレスチェック、新採・異動・昇格者面接、長時間勤務者健康相談等 ②こころの相談の実施 精神科医・カウンセラーによる相談等 ③職場復帰の支援 復職相談、職場復帰訓練等 ④ハラスメントの相談 ハラスメント相談員(13名)の任用及び相談対応	継続予定	継続予定	
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
	評価	評価に対する説明		
	B	メンタルヘルス、ハラスメント対策等として、個々の職員を対象とした事業を計画的に行うことができた。一方で、メンタルヘルス不調者を出さないためには、職場環境改善の取り組みをさらに充実させる必要があり、次年度への課題となった。		
	●教育総務課(教職員)			
	◆成果・実績及び見込			
2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)		
教職員のストレスチェック(11月)を実施し、早期発見早期対応に努めるとともに、教職員を対象とした心の健康相談(5回/年)を実施している。	実施	実施		
◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価	評価に対する説明			
B	ストレスチェックや心の健康相談の定期的実施により、教職員のメンタルヘルス対策は充実してきた。ストレスチェックの結果を、各校で生かせるような啓発活動が課題と考える。			

(4) 高齢者への支援

高齢者が安心して暮らすことができるよう支援体制を整備するとともに、「健康長寿日本一」の実現を目指した高齢者の健康維持や生きがいづくりなど、関係機関や各種団体等と連携しながら、希望を持って生きるための施策の充実に取り組みます。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体・担当課	事業	事業概要		
		位置付け	ページ	事業名(担当課)
宇治市 長寿 生きがい課	 地域包括支援センター運営事業	地域福祉推進のプログラム	4 - (1) - 30	P.36 地域包括支援センター運営事業(長寿生きがい課)
宇治市 長寿 生きがい課	一人暮らし・高齢者世帯確認表	一人暮らしの高齢者や高齢者世帯を担当民生児童委員が必要に応じて訪問し、緊急時の連絡先や健康状態等の状況について確認表に記録し、継続的に見守ります。		
◆成果・実績及び見込				
2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
担当民生児童委員による通年の訪問活動		継続実施	継続実施	
◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価	評価に対する説明			
A	計画的に事業を実施しており、現状のまま事業を継続する。			
宇治市 長寿 生きがい課	地域包括ケア体制推進事業	地域の高齢者が安心していきいきと暮らせるように「地域包括ケア会議」及び「小地域包括ケア会議」を開催し、地域ネットワークの構築を図るとともに、事例検討などを通してきめ細やかな支援に努めます。		
◆成果・実績及び見込				
2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
宇治市地域包括ケア会議 年間2回 小地域包括ケア会議 年間19回		継続実施	継続実施	
◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価	評価に対する説明			
A	計画的に事業を実施しており、現状のまま事業を継続する。			
宇治市 長寿 生きがい課	認知症地域支援事業	認知症の人やその家族が地域で心身ともにいきいきと暮らすことができるように、認知症の正しい理解を広め、認知症になっても安心して暮らし続けられる支援や取り組みを進めます。		
◆成果・実績及び見込				
2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
認知症あんしんサポーター養成講座 延べ人数 1,159人 キャラバン・メイトフォローアップ講座 延べ人数 24人		認知症あんしんサポーター養成講座 延べ人数 1,000人 キャラバン・メイトフォローアップ講座 延べ人数 40人	認知症あんしんサポーター養成講座 延べ人数 1,000人 キャラバン・メイトフォローアップ講座 延べ人数 40人	
◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価	評価に対する説明			
A	認知症あんしんサポーター養成講座を継続することで、認知症について正しく理解する人は増えている。毎年キャラバン・メイトのフォローアップを行い、サポーターの資質向上を図っている。			

宇治市 長寿 生きがい課	<b>初期認知症総合相談支援事業</b>	認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続するために、認知症コーディネーターを配置し、認知症の人とその家族への効果的な支援を行います。また、医療機関、介護サービス及び地域の支援機関の連携強化などによる支援体制の構築を図ります。			
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	認知症コーディネーター 3人配置 認知症対応型カフェ(れもんカフェ) 36回 認知症初期集中支援チーム対応実人数 40人		認知症コーディネーター 3人配置 れもんカフェ 36回 認知症初期集中支援チーム対応実人数 60人	認知症コーディネーター 3人配置 れもんカフェ 36回 認知症初期集中支援チーム対応実人数 60人	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		認知症の人とその家族が住み慣れた地域で継続して生活できるよう、認知症の初期の支援策を構築した。認知症の初期の人が、重度化する前に支援者と出会い、支援につながるために引き続き実施する。			
宇治市 長寿 生きがい課	<b>訪問型短期集中予防サービス</b>	保健師や看護師等の専門職が、訪問にて心身の健康を保つための相談やアドバイスを実施します。			
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	訪問実人数 61人 訪問延べ回数 216回		訪問実人数40人 訪問延人数200回	訪問実人数40人 訪問延人数200回	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		対象者の生活課題に対して適切に相談・指導を行い、在宅で自立した生活を継続できるよう、適正に支援した。今後は専門的な支援の充実等、より効果的な事業実施を行うとともに、サービスについての周知啓発を行い、利用の機会の拡大を目指す。			
宇治市 長寿 生きがい課	<b>住民主体型通いの場活動支援</b>	要支援者等を中心とする自主的な通いの場として、体操、レクリエーション等の活動、趣味活動等を通じた短時間の居場所づくりを行うボランティア団体を支援します。			
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	住民主体通所型サービス実施団体に補助金を交付 継続 6団体 新規 2団体		継続実施	継続実施	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		計画的に事業を実施しており、現状のまま事業を継続する。			
宇治市 長寿 生きがい課	<b>通所型短期集中予防サービス</b>	個別性を重視して、運動・栄養・口腔・認知機能の維持向上を目指します。			
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	実施回数 80回 実人数 35人 延べ人数 275人		実施回数 72回 実人数 40人 延べ人数 400人	実施回数 72回 実人数 40人 延べ人数 400人	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		通所による生活指導を通じ、対象者の生活課題に対して適切に相談・指導を行い、在宅で自立した生活を継続できるよう、適正に支援した。今後は専門的な支援の充実等、より効果的な事業実施を行うとともに、サービスについての周知啓発を行い、利用の機会の拡大を目指す。			

宇治市 長寿 生きがい課	地 高齢者虐待対策事業	地域福祉推進 のプログラム	位置付け	ページ	事業名(担当課)
			3 - (2) - 26	P.32	高齢者虐待対策事業 (長寿生きがい課)
宇治市 長寿 生きがい課	地域リハビリテーション活動支援 事業		介護予防に関連する地域団体からの依頼により、専門職の派遣を行い、介護予 防や健康増進に関する地域活動の活性化を図る。		
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	派遣団体数:51団体 派遣回数:72回		実施	実施	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		介護予防に関連する地域団体(サロンや介護予防教室のOB会等)の依頼により、専門職の派遣を行い、そ の団体が継続的に活動できるよう支援し、活性化を図った。			
宇治市 介護保険課	介護給付		居宅介護サービス、地域密着型介護サービス、施設介護サービス、介護予防 サービス、地域密着型介護予防サービスなどの給付を通して、要介護・要支援認 定者の尊厳を保持し、能力に応じ自立した生活ができるよう支援します。また、高 齢者の実態やニーズを踏まえ、必要なサービスの整備を進めます。		
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	決算額:14,745,121千円 主なサービス実績 ①訪問介護 477,086回/年 ②通所介護 168,428回/年 等		主なサービス見込 ① 505,769回/年 ② 179,556回/年 等	主なサービス見込 ① 516,152回/年 ② 183,754回/年 等	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
B		新型コロナウイルス感染症の影響により、一部サービスについては利用回数の見込みを下回ったものもある が、今後も高齢者数の増加に伴い、認定者数及びサービス利用者数が増加する見込みであることから、持 続可能な事業運営のため、適正な執行に努めるとともに、ニーズを的確に把握し、事業計画に反映する必要 がある。			
宇治市 介護保険課	介護予防・生活支援サービス 事業 (訪問介護相当サービス、生活支援 型訪問サービス、通所介護相当 サービス、短時間型通所サービス)		訪問介護相当サービス、生活支援型訪問サービス、通所介護相当サービス、短 時間型通所サービスの実施により、要支援認定者及び事業対象者の介護予防 及び自立支援を図ります。		
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	決算額:274,552千円 ①訪問介護相当サービス 6,081人/年 ②生活支援型訪問サービス 449人/年 ③通所介護相当サービス 3,543人/年 ④短時間型通所サービス 4,303人/年		① 6,348人/年 ② 480人/年 ③ 3,696人/年 ④ 5,004人/年	① 6,564人/年 ② 492人/年 ③ 3,828人/年 ④ 5,904人/年	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
B		新型コロナウイルス感染症の影響により、一部サービスについては利用回数の見込みを下回ったものもある が、今後も高齢者数の増加に伴い、認定者数及びサービス利用者数が増加する見込みであることから、持 続可能な事業運営のため、適正な執行に努めるとともに、ニーズを的確に把握し、事業計画に反映する必要 がある。			
宇治市 長寿 生きがい課	地 緊急通報装置(シルバーホ ン)の設置	地域福祉推進 のプログラム	位置付け	ページ	事業名(担当課)
			3 - (1) - 27	P.33	緊急通報装置(シルバーホン)の設置 (長寿生きがい課)

宇治市 長寿 生きがい課	ボランティア研修会		市民の積極的な社会参加を促進するとともに、介護予防事業への理解と普及啓発を促進し、地域の高齢者を支えます。		
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度 成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	年6回実施 参加者のべ数 145人		継続実施	継続実施	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
A	計画的に事業を実施しており、現状のまま事業を継続する。				

(5) 障害等のある人への支援

障害等のある人が安心して暮らすことができるよう、適切な支援を行います。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 障害福祉課	<b>障害者相談支援事業</b>	医療・保健・福祉・教育及び就労等に関する機関とのネットワークを構築し、地域の障害者等や支援者が抱える問題の把握と検討を行い、適切な支援につなげます。			
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	・宇治市地域自立支援協議会12回 ・宇治市障害者生活支援センター事業		・宇治市地域自立支援協議会12回 ・宇治市障害者生活支援センター事業	・宇治市地域自立支援協議会12回 ・宇治市障害者生活支援センター事業	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	障害福祉分野における課題を細やかに検討している。市町村必須事業に位置づけられていることから、相談支援体制の充実をはかりながら、今後も事業を継続する。				
宇治市 障害福祉課	<b>障害者虐待防止対策事業</b>	障害者虐待に関する通報・相談窓口を設置し、問題の早期発見・解決につなげます。			
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	窓口への相談件数 21件		窓口への相談件数 25件	窓口への相談件数 25件	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	本事業のさらなる周知徹底と複雑事案についての対応が課題となっている。				
宇治市 障害福祉課	<b>身体・知的障害者相談員設置事業</b>	相談員が身体障害者・知的障害者の福祉制度利用、就職、日常生活等に関する相談に応じ、必要な助言を行います。			
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	身体障害者相談員 13名 知的障害者相談員 2名		身体障害者相談員 13名 知的障害者相談員 2名	身体障害者相談員 13名 知的障害者相談員 2名	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	事業を計画的に実施していきたい。				

宇治市 障害福祉課	<b>障害者生活支援事業</b>	精神保健福祉士・保健師による相談や、グループワーク事業を実施することで、精神障害者の早期発見・早期治療・社会復帰を促進します。		
	◆成果・実績及び見込			
	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	・中途失明者点字講習会開催数48回 ・精神障害者社会復帰集団指導事業開催数38回 ・精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数157名	・中途失明者点字講習会開催数48回 ・精神障害者社会復帰集団指導事業開催数40回	・中途失明者点字講習会開催数48回 ・精神障害者社会復帰集団指導事業開催数40回	
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	本事業が社会参加の場のひとつとして、他者との交流の場となっており、生活能力の向上にもつながるため、今後も事業を継続していく必要がある。			
宇治市 障害福祉課	<b>地域活動支援センター等事業</b>	障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むために、創作活動または生産活動の機会を提供し、社会との交流を促進します。		
	◆成果・実績及び見込			
	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	地域活動支援センター利用実績 4か所延べ人数676名	地域活動支援センター利用見込 4か所延べ人数700名	地域活動支援センター利用見込 4か所延べ人数700名	
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	創作的活動又は生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進等の場を設定できた。他のサービスにはない性質のものであるため、今後も事業の継続が必要である。			
宇治市 障害福祉課	<b>その他障害者の生活を支える事業の充実</b>	障害者自立支援医療費の給付や、日中一時支援事業、移動支援事業、社会参加促進事業、手話通訳者・要約筆記者派遣事業など障害者の生活を支える事業の充実を図り、障害者の生活の支援や社会との交流を促進します。		
	◆成果・実績及び見込			
	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	現行計画の推進及び次期計画の策定準備のため、協議会を2回開催	現行計画の推進及び次期計画の策定のため、協議会を4回開催	次期計画の推進のため、協議会を1回開催	
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	協議会において、障害福祉関連計画の推進及び次期計画の策定準備等に関して、委員から幅広い意見をいただいた。今後も当事者の意見を踏まえ、福祉施策の充実を図る。			

(6)生活困窮者・無職者への支援

生活困窮者や無職者の生活不安を軽減することが必要であり、制度の適切な実施や、必要な支援につなげるための生活困窮者自立支援制度を中心とした相談体制を整備します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体・担当課	事業	事業概要			
		位置付け	ページ	事業名(担当課)	
宇治市 地域福祉課	<b>地</b> 生活困窮者自立支援事業	地域福祉推進のプログラム	5 - (1) - 40	P.46	生活困窮者に係る自立支援(地域福祉課)
宇治市 生活支援課 ほか	<b>生活保護制度等の運用</b>		生活保護制度等の各種給付制度の運用にあたっては、生活状況の把握を行い、自立に向けた相談・支援を行うほか、必要な場合は適切な相談窓口や医療機関につながるよう支援します。		
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	生活困窮者の困窮の程度に応じて必要な保護を行い、各種扶助を行う。 相談延べ件数:663件 申請件数:299件 開始件数:227件 廃止件数:241件		相談延べ件数: 730件 申請件数:301件 開始件数:217件 廃止件数:240件	相談延べ件数: 700件 申請件数:300件 開始件数:220件 廃止件数:240件	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	物価高騰の影響を受け生活にお困りの方からの相談について、困窮状態の把握に努め、自立相談支援機関と連携しながら適切な支援に取り組むことができた。引き続き、様々な課題を抱える生活困窮者に制度の周知を図り、生活困窮者に支援が届くよう、庁内関係各課、庁外関係機関、民間団体等と連携を図っていく。				
宇治市 こども福祉課	<b>地</b> ひとり親家庭自立支援給付事業	地域福祉推進のプログラム	4 - (4) - 39	P45	ひとり親家庭自立支援給付事業(こども福祉課)
宇治市 こども福祉課	<b>母子生活支援施設広域入所</b>		配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子と、その監護すべき児童の母子生活支援施設への入所を実施し、入所施設の実施運営費を扶助することで、その生活を支援し、自立を促進します。		
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	必要性のあるDV被害者等の施設入所を実施した。京都府や男女共同参画課等の関係機関と連携し、必要な母子について施設入所措置を行う。		継続実施	継続実施	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	面談等により、入所が必要な母子や入所中の母子について、施設入所の措置ができた。引き続き、京都府や男女共同参画課等の関係機関との連携を図る。				



宇治市 こども福祉課	<b>母子父子自立支援員設置事業</b>		母子・父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭等の相談に応じ、その自立に必要な情報提供や助言、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行い、生活の安定や児童の福祉の増進を図ります。			
	◆成果・実績及び見込					
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)		
	母子・父子自立支援員を週3日配置し、関係機関と連携しながら相談に応じ、ひとり親家庭の自立に向けた支援を行った。なお、児童扶養手当の現況届提出時期(8月)には週4.5日の配置とし、ひとり親家庭が必要な支援に確実につながるよう相談しやすい体制としている。		継続実施	継続実施		
	◆2022年度(令和4年度)の評価					
評価		評価に対する説明				
A		多岐にわたる内容の相談業務を実施し、ハローワークや府ひとり親自立支援センター等と連携し、ひとり親家庭の自立支援に取り組んだ。				
宇治市 関係各課	<b>各種料金の滞納徴収や納付相談での対応</b>		国民健康保険料や保育料、水道料金、市税等の滞納者に対する徴収や納付相談にあたり、経済的な困難やその他の問題を抱えていることを把握した場合は、状況に応じて適切な相談窓口につなげます。			
	◆成果・実績及び見込					
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)		
	各課相談窓口に、こころの相談窓口の周知チラシを配付し、各窓口において、適切な対応ができるように、情報を共有した。 市内部の掲示板で、各課窓口で、自殺リスクに気づき、適切な対応をとることができるよう必要な情報を周知した。		引き続き、各相談窓口で適切な対応を行う	引き続き、各相談窓口で適切な対応を行う		
	◆2022年度(令和4年度)の評価					
評価		評価に対する説明				
A		周知チラシを作成し、相談窓口の周知啓発を推進することができた。				
宇治市 産業振興課	<b>会社説明会、出張就労相談</b>		ハローワーク宇治、宇治商工会議所等と連携した、会社説明会を実施し、就労への支援を行います。また、「京都ジョブパーク」と「地域若者サポートステーション京都南」による出張就労相談会を市役所内で実施し、無職者等の職業的自立を支援します。			
	◆成果・実績及び見込					
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)		
	会社説明会については、コロナ禍から約3年ぶりの開催となり、3回実施した。出張就労相談会は24回実施した。		継続実施	継続実施		
	◆2022年度(令和4年度)の評価					
評価		評価に対する説明				
B		会社説明会は、コロナ禍から約3年ぶりの開催であったが、2回で13社、38名の参加があった。出張就労相談会については計画とおり実施されたが、職業的自立や社会的自立を目指す人が気軽に参加できるよう、事業の周知とともに広報方法について検討する必要がある。				

(7) 妊産婦・育児中の人への支援

産後うつ予防と早期対応に努めるとともに、関係機関と連携し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行うことで、精神的な不調がある妊産婦や保護者の不安や悩みの軽減・解消と乳幼児の健全育成に取り組みます。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 こども福祉課	こども家庭相談	専門相談員を配置し、子育てのこと、子どもの友人関係や学校でのことなど、18歳未満の子どもと家庭にかかわる相談を受け付けます。また、児童虐待の通告や対応の相談を受け付けます。			
	◆成果・実績及び見込				
		2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
		児童相談所と連携した児童虐待への対応、18歳未満の子どもと家庭に関わる相談業務、支援を要する児童や特定妊婦等の状況を把握した上での家庭支援を行った。また、ヤングケアラーコーディネーター1名を新たに配置し、個別の実態調査、支援へのつなぎを行うとともに相談窓口(通称:いいやん)を設置し、相談対応を行った。	継続実施	継続実施	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	A	「子ども家庭総合支援拠点」として体制を強化し、児童相談所及び関係機関との連携強化に努めるとともに、研修会の開催及び広報・啓発活動などを通じ、児童虐待の対応やヤングケアラーの早期発見等の対応を行った。今後は介護保険事業所など関係機関との連携強化に努める。			
宇治市 こども福祉課	地 地域子育て支援拠点事業	地域福祉推進のプログラム	位置付け	ページ	事業名(担当課)
			4 - (1) - 31	P.37	
宇治市 保育支援課	保育の実施	公立保育所、民間保育園、認定こども園において、保育事業を行うとともに、保護者からの育児に関する相談を受け付けます。			
	◆成果・実績及び見込				
		2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
		<実施園・定員> ○公立保育所7園・940人 ○民間保育所(園)5園・655人 ○民間認定こども園16園・2375人(分園2園含む) ○地域型保育事業(家庭的・小規模保育事業)12園・117人	<実施見込み園・定員> ○公立保育所7園・940人 ○民間保育所(園)5園・655人 ○民間認定こども園16園・2405人(分園2園含む) ○地域型保育事業(家庭的・小規模保育事業)12園・117人	<実施見込み園・定員> ○公立保育所7園・940人 ○民間保育所(園)5園・655人 ○民間認定こども園17園・2425人(分園3園含む) ○地域型保育事業(家庭的・小規模保育事業)12園・117人	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	A	事業を順調に行っている。			

宇治市 保育支援課	<b>一時預かり事業</b>	親の病気・出産、冠婚葬祭、短期間・断続的労働・職業訓練、リフレッシュしたい等の理由で一時的に保育が必要な時に利用できるサービスを提供します。		
	◆成果・実績及び見込			
	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	<実施施設> ○民間保育所(園)4園 ○民間認定こども園11園	<実施見込み施設> ○民間保育所(園)4園 ○民間認定こども園11園	<実施見込み施設> ○民間保育所(園)4園 ○民間認定こども園11園	
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	事業を順調に行っている。			
宇治市 保育支援課	<b>子育て支援事業</b>	民間保育園・認定こども園で、子育て相談や園庭開放等を通して地域の保護者の相談に応じます。必要な場合は専門機関等につなぎます。		
	◆成果・実績及び見込			
	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	<実施施設> ○民間保育所(園)5園 ○民間認定こども園14園	<実施見込み園> ○民間保育所(園)5園 ○民間認定こども園14園	<実施見込み園> ○民間保育所(園)5園 ○民間認定こども園14園	
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	事業を順調に行っている。			
宇治市 保健推進課	<b>妊婦健康診査</b>	妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を目的として実施し、必要に応じて、医療機関と行政が連携してフォローを行います。		
	◆成果・実績及び見込			
	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	妊娠・出産に支障を及ぼす疾病の早期発見・早期治療を推進するため健診費用を助成。令和2年4月より多胎妊婦の追加健診にも助成を開始した。 母子健康手帳交付件数 1,008件	継続実施	継続実施	
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	妊娠早期に母子健康手帳の発行と合わせ、健診費用の助成を行うことにより、妊婦の健康管理の促進と経済的負担の軽減を図ることができた。			
宇治市 保健推進課	<b>産婦健康診査</b>	出産後間もない時期の産婦に対する健康診査の費用を助成し、支援が必要と判断された場合は医療機関と行政が連携してフォローを行います。		
	◆成果・実績及び見込			
	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	産婦の健康状況を早期に把握することにより、産後初期段階における母子に対する支援につなげることができた。 受診件数 1,745件	継続実施	継続実施	
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	産婦の健康管理の充実、経済的負担の軽減を図るとともに、医療機関との連携により支援が必要な母子の早期把握ができた。引き続き、医療機関との連携に努める。			

宇治市 保健推進課	 <b>こんにちは赤ちゃん事業</b>	地域福祉推進 のプログラム	位置付け	ページ	事業名(担当課)
			5 - (1) - 40	P.46	乳児家庭全戸訪問事業 (保健推進課)
宇治市 保健推進課	<b>新生児訪問指導事業</b>		新生児出生通知書・電話・窓口等で申し出のあった新生児と産婦に対し、地区担当保健師が家庭訪問を行い、生活指導、保健指導等を行います。出生後、最も不安の高い時期に地区担当保健師が訪問することで、育児不安の緩和や早期からの育児相談窓口として機能します。また、保健事業を普及・啓発し、安心して子育てができるよう支援します。		
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	産婦及び新生児の妊娠中、出生時、現在の状況を把握し、それに対して保健指導を行った。また、今後の相談窓口として地区担当保健師を紹介するとともに、保健事業を普及・啓発し、安心して子育てが出来るよう援助した。訪問件数 701件		継続実施	継続実施	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		新生児期の養育上必要な育児指導、先天性異常の早期発見等、適切な保健指導を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図ることができた。			
宇治市 保健推進課	<b>乳幼児健康診査</b>		3か月児、10か月児、1歳8か月児、3歳児の発達段階に応じて必要な健康診査を行い、疾病または異常の発見、運動・精神の発達状況を把握し、適切な指導を行い、子どもの健やかな成長を促します。さらに虐待の予防・保護者の育児不安の軽減に努めています。		
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	乳幼児期の健康の保持・増進を図るため、健やかセンターまたは医療機関にて健診を実施した。 <受診児数及び受診率> 3か月児健診 1,019人(97.6%) 10か月児健診 1,036人(93.7%) 1歳8か月児健診 1,110人(97.6%) 3歳児健診 1,154人(98.0%)		継続実施	継続実施	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		子どもの発達段階に合わせた健診項目を実施することによって、子どもの健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。乳幼児期の育児上多い困りごとについて、配布用パンフレットを見直す等し、さらに保護者に寄り添った保健指導を検討する必要がある。			
宇治市 保健推進課	<b>こども発達相談(心理)</b>		乳幼児健診、乳幼児相談、家庭訪問等により、身体的、精神的発達面に課題があると思われる乳幼児の保護者に対して、発達相談員が相談、情報の提供及び助言を行います。		
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	保護者が子どもの育ちに見通しを持ちやすくなり、適切な親子関係を築くとともに、子どもの健やかな成長を図った。 延べ相談件数 1,045件		継続実施	継続実施	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		子どもの健やかな成長への支援を図ることができたと共に保護者の精神的な安定も図れた。今後も引き続き適切な指導・援助の実施に努める。			

宇治市 保健推進課	妊婦面談事業	母子健康手帳交付時に地区担当保健師を知ってもらい、安心して相談できる場を提供します。また、妊娠期における栄養・休養・心身のケア等について正しい知識及び子育て制度の普及啓発を行い、健やかな出産に向けての準備を促します。さらに、ハイリスク妊婦を把握し、産前から支援を行うことで心身の健康の保持増進及び虐待を積極的に予防します。		
		◆成果・実績及び見込		
	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	母子健康手帳交付時に、保健師による面談を行い、保健指導や必要に応じて子育て支援サービスの紹介を行い、妊娠中から必要な支援につなぐ。また妊娠中から、絵本による子どもとのふれあいの大切さを伝えて絵本を渡している。 面談件数 1,052件	継続実施	継続実施	
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	母子健康手帳交付時に、保健師による面談を行うことで、安心して相談でき、妊娠期から子育て期まで切れ目ないサポートができるよう関係性の構築を図ることができた。妊婦面談後の継続的な関わりができるよう引き続き切れ目ない子育て支援について検討する。			
宇治市 保健推進課	産後ケア事業	産後に支援を必要とする母子に対して、心身のケア、育児の支援その他、母子の健康の維持・増進に必要な支援を実施することにより、母子に対する支援体制を確立し、母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、母子とその家族が健やかな育児ができるように支援します。		
		◆成果・実績及び見込		
	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	妊娠期から申請ができるため、妊婦とともに、産前から産後の支援体制を具体的に考えて、妊娠期から不安の軽減を図った。また、事業の利用により、産婦の心身の安定が図れた。  利用実人数 75人 宿泊型 13人(延べ42回) 訪問型(助産師) 29人(延べ43回) 訪問型(介護福祉士) 24人(延べ109回) 日帰り型 43人(延べ72回)	継続実施	継続実施	
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	支援が必要な方に利用を促すことができ、子育てに対する負担感の軽減を図ることができた。さらに、支援が必要な方が確実に利用できるよう、事業の制度や周知方法を検討する。			

**(8) その他様々な悩みを抱える人への支援**

様々な悩みや状況により生きづらさを抱える人に対し、一人ひとりが抱えているところの負担を軽減できるよう、それぞれの状況に応じた相談支援につなげます。

＜具体的な取り組みの実施状況＞

実施主体・担当課	事業	事業概要		
宇治市 地域福祉課 人権啓発課 ほか	<span style="border: 1px solid green; border-radius: 50%; padding: 2px;">地</span> 相談窓口等での対応	ひきこもりの人やLGBTなど性的マイノリティの人、自殺未遂者、自死遺族など、生きづらさを抱える人に対し相談機関等の紹介や周知を図ります。また、人権相談等の各種相談窓口で、自殺につながるような言葉があった場合や、生活する上での困難や悩みを抱えていることが分かった場合は、専門の相談窓口(京都いのちの電話、京都府自殺ストップセンター等)や状況に応じた適切な窓口につなぎます。		
		●人権啓発課		
	◆成果・実績及び見込			
		2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)
		人権擁護委員による人権相談を第一木曜日に実施したほか、人権啓発課に電話等での相談があった場合にも、適切な窓口につなげた。	継続実施	継続実施
	◆2022年度(令和4年度)の評価			
		評価	評価に対する説明	
		A	適切な対応ができた。	
	●地域福祉課			
	◆成果・実績及び見込			
	2022年度成果・実績 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	各相談窓口に、こころの相談窓口の周知チラシを配付し、適切な対応ができるように、情報を共有した。各課窓口で、自殺リスクに気づき、適切な対応をとってもらうよう周知・啓発を行った。	継続して、適切な対応がとれるよう情報共有と周知を図る。	継続して、適切な対応がとれるよう情報共有と周知を図る。	
◆2022年度(令和4年度)の評価				
	評価	評価に対する説明		
	A	周知チラシを作成し、相談窓口の周知啓発を推進することができた。		

(8) その他様々な悩みを抱える人への支援

○介護等が必要な人を支える家族への支援

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体・担当課	事業	事業概要			
		位置付け	ページ	事業名(担当課)	
宇治市 長寿 生きがい課	 地域包括支援センター運営事業	地域福祉推進のプログラム	4 - (1) - 30	P.36 地域包括支援センター運営事業(長寿生きがい課)	
宇治市 長寿 生きがい課	在宅高齢者介護者リフレッシュ事業	在宅介護をする家族等(市民)を対象に、身体的・精神的にリフレッシュできるよう、交流会をはじめとする文化教養行事等を開催します。			
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	レクリエーション企画 3回 延べ人数 31人 交流企画 3回 延べ人数 46人		継続実施	継続実施	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	計画通りに事業を実施しており、今後も継続していく。				
宇治市 長寿 生きがい課	介護知識・技術習得教室	在宅介護をする家族等(市民)を対象に、身体的・精神的負担の軽減を図ることができるよう、適切な介護知識・技術取得等を内容とした教室を開催します。			
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	年6回実施 参加者延べ人数 55人		継続実施	継続実施	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	計画通りに事業を実施しており、今後も継続していく。介護知識・技術習得教室については、参加者数の拡大のため、内容・広報等の見直しも検討する。				
宇治市 長寿 生きがい課	認知症家族介護者支援事業	認知症家族支援プログラム及びOB会を通して、認知症の人を介護する家族を支援します。			
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	①認知症家族支援プログラム 延べ人数 26人 ②認知症家族支援プログラムOB会 延べ人数 58人		①認知症家族支援プログラム 延べ人数 60人 ②認知症家族支援プログラムOB会 延べ人数 100人	①認知症家族支援プログラム 延べ人数 60人 ②認知症家族支援プログラムOB会 延べ人数 100人	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	①認知症家族支援プログラムは、参加者を、在宅で初期又は中等度の認知症の人を現在介護している人と限定していることもあり、参加者の中には、毎回続けて参加することが難しい人もいる。参加者家族の個別状況に応じた内容であること、介護者同士のピアカウンセリングにより介護疲労の軽減、介護意欲の向上につながっているため、参加者の満足度は高い。 ②認知症家族支援プログラムOB会は、参加者数が安定しており、継続した介護者同士のピアカウンセリングの場になっている。				

宇治市 障害福祉課	<b>心身障害者介護支援 (レスパイトサービス)事業</b>		在宅の心身障害者を一時的に預かることにより、介護されている保護者の方に日頃の心身の疲れを回復していただくことを目的としています。		
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度 成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	登録料 1世帯年間 3,000円 利用料 1時間当たり 450円 総利用回数 1,952回		登録料 1世帯年間 3,000円 利用料 1時間当 たり 450円 総利用回数 2,000回	登録料 1世帯年間 3,000円 利用料 1時間当 たり 450円 総利用回数 2,000回	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		本事業を通じて、心身障害者の介護をしている家族等の休息の機会を提供することができた。今後も継続していく必要がある。			
宇治市 障害福祉課	<b>障害者日中一時支援事業</b>		障害者等の日中における活動の場を確保し、障害者等の家族の就労支援および、一時的な休息の確保等を目的に支援しています。		
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度 成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	日中一時支援事業利用実績 総利用時間数 88,450時間		日中一時支援事業 利用実績 総利用時間数 95,000時間	日中一時支援事業 利用実績 総利用時間数 100,000時間	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		本事業を通じて、障害を有する者と児童の日中活動の場と、その家族の休息の機会を提供することができた。今後も継続した事業展開が必要である。			



(8) その他様々な悩みを抱える人への支援

○被災者・犯罪被害者への支援

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 危機管理室	宇治市地域防災計画	宇治市地域防災計画に基づき、災害時における被災者の心のケアとして、精神疾患及びPTSD(心的外傷後ストレス障害)等に適切に対応できるよう対応を整えます。			
	◆成果・実績及び見込				
	2022年度成果・実績 (令和4年度)		2023年度見込 (令和5年度)	2024年度見込 (令和6年度)	
	大規模災害に発生時に備えて、宇治市地域防災計画に基づいて、対応することを確認した。		大規模災害に発生時に宇治市地域防災計画に基づいて、適切に対応する。	大規模災害に発生時に宇治市地域防災計画に基づいて、適切に対応する。	
	◆2022年度(令和4年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	大規模災害発生時におけるメンタルヘルスケアに適切に対応できるよう、関係機関と協力して対応していく。				
宇治市 総務課	<span style="border: 1px solid green; border-radius: 50%; padding: 2px;">地</span> 犯罪被害者等支援	地域福祉推進のプログラム	位置付け	ページ	事業名(担当課)
			1 - (3) - 6	P.8	犯罪被害者等支援事業(総務課)

# 自殺対策計画推進のめやす索引

No.	「自殺対策計画」主な事業・取組	担当課	⑤	地域福祉計画	地域福祉計画「推進のめやす」掲載事業名	地域福祉計画推進のめやす担当課	⑥
<b>基本施策1 つながり支え合うネットワークの強化</b>							
1	関係機関・団体等との連携	関係各課	1				
2	自殺対策庁内推進体制の構築	地域福祉課	1	▶			
<b>基本施策2 寄り添い支える人材の育成と相談機能の充実</b>							
3	福祉事業従事者や市民を対象とした研修の実施	地域福祉課	2	▶			
4	市役所等の窓口での対応	地域福祉課 ほか	2				
5	市職員を対象とした研修の実施	地域福祉課 ほか	2	▶			
6	教職員を対象とした研修の実施	教育関係各課	3				
<b>基本施策3 市民への啓発と周知</b>							
7	市政だよりやホームページ等への掲載	地域福祉課 ほか	4				
8	くらしの便利帳等への掲載	地域福祉課 ほか	4				
9	自殺対策関連講座の開催	地域福祉課 男女共同参画課 ほか	5	▶	(○) 自殺対策事業	地域福祉課	39
10	地域支え合い出前講座での周知	地域福祉課	5	▶	(○) 地域福祉推進事業	地域福祉課	34
11	市図書館での周知・啓発	中央図書館 東宇治図書館 西宇治図書館	6	▶			
12	街頭啓発等の実施	地域福祉課 ほか	7	▶			
<b>基本施策4 希望を持って生きることができるまちづくりの推進</b>							
<b>(1)健康づくり</b>							
13	健康づくり・食育推進事業	健康づくり推進課	8	▶			
14	健康づくり・食育アライアンス事業	健康づくり推進課	8	▶	○ 健康づくり・食育アライアンス事業	健康づくり推進課	5
15	健康教育	健康づくり推進課	8	▶	○ 健康教育・健康相談	健康づくり推進課	5
16	健康相談	健康づくり推進課	8	▶	○ 健康教育・健康相談	健康づくり推進課	5
<b>(2)子ども・若者への支援</b>							
17	こども家庭相談	こども福祉課	9				
18	教育相談事業	教育支援課	9				
19	心と学びのパートナー等派遣事業	教育支援課	9	▶			
20	こころの教育	学校教育課 教育支援課	10				
21	スクールソーシャルワーカー活用事業	教育支援課	10				
22	不登校児童生徒支援事業	教育支援課	10	▶	○ 不登校児童生徒支援事業	教育支援課	48
23	いじめ防止対策の推進	人権啓発課 教育支援課	11				
24	学校支援チーム活動事業	教育支援課	11				
25	不登校児童生徒自立支援教室運営事業	教育支援課	11	▶			
26	少年補導活動	教育支援課	12				
27	子どもの学習支援事業	地域福祉課	12	▶	(○) 生活困窮者に係る自立支援	地域福祉課	46
<b>(3)働く人への支援</b>							
28	労政ニュース発行事業	産業振興課	13	▶	○ 宇治労政ニュース発行事業	産業振興課	45
29	中小企業交流促進事業 (中小企業セミナー開催事業)	産業振興課	13				
30	宇治市中小企業低利融資	産業振興課	13				
31	市職員・教職員のメンタルヘルス及びハラスメント防止に関する取り組み	職員厚生課 教育総務課 ほか	14				
<b>(4)高齢者への支援</b>							
32	地域包括支援センター運営事業	長寿生きがい課	15	▶	○ 地域包括支援センター運営事業	長寿生きがい課	36
33	一人暮らし・高齢者世帯確認表	長寿生きがい課	15				
34	地域包括ケア体制推進事業	長寿生きがい課	15				
35	認知症地域支援事業	長寿生きがい課	15	▶			
36	初期認知症総合相談支援事業	長寿生きがい課	16	▶			
37	訪問型短期集中予防サービス	長寿生きがい課	16	▶			
38	住民主体型通いの場活動支援	長寿生きがい課	16	▶			
39	通所型短期集中予防サービス	長寿生きがい課	16	▶			
40	高齢者虐待対策事業	長寿生きがい課	17	▶	○ 高齢者虐待対策事業	長寿生きがい課	32

No.	「自殺対策計画」主な事業・取組	担当課	※	地域福祉計画	地域福祉計画「推進のめやす」掲載事業名	地域福祉計画推進のめやす担当課	※
<b>基本施策4 希望を持って生きることができるまちづくりの推進</b>							
<b>(4)高齢者への支援</b>							
41	地域リハビリテーション活動支援事業	長寿生きがい課	17				
42	介護給付	介護保険課	17				
43	介護予防・生活支援サービス事業(訪問介護相当サービス、生活支援型訪問サービス、通所介護相当サービス、短時間型通所サービス)	介護保険課	17				
44	緊急通報装置(シルバーホン)の設置	長寿生きがい課	17	○	緊急通報装置(シルバーホン)の設置	長寿生きがい課	33
45	ボランティア研修会	長寿生きがい課	18				
<b>(5)障害等のある人への支援</b>							
46	障害者相談支援事業	障害福祉課	19				
47	障害者虐待防止対策事業	障害福祉課	19				
48	身体・知的障害者相談員設置事業	障害福祉課	19				
49	障害者生活支援事業	障害福祉課	20	▶			
50	地域活動支援センター事業	障害福祉課	20	▶			
51	その他障害者の生活を支える事業の充実	障害福祉課	20				
<b>(6)生活困窮者・無職者への支援</b>							
52	生活困窮者自立支援事業	地域福祉課	21	▶	○ 生活困窮者に係る自立支援	地域福祉課	46
53	生活保護制度等の運用	生活支援課 ほか	21				
54	ひとり親家庭自立支援給付事業	こども福祉課	21	▶	○ ひとり親家庭自立支援給付事業	こども福祉課	45
55	母子生活支援施設広域入所	こども福祉課	21				
56	母子父子自立支援員設置事業	こども福祉課	22	▶			
57	各種料金の滞納徴収や納付相談での対応	関係各課	22				
58	会社説明会、出張就労相談	産業振興課	22				
<b>(7)妊産婦・育児中の人への支援</b>							
59	こども家庭相談	こども福祉課	23				
60	地域子育て支援拠点事業	こども福祉課	23	▶	○ 地域子育て支援拠点事業	こども福祉課	37
61	保育の実施	保育支援課	23				
62	一時預かり事業	保育支援課	24				
63	子育て支援事業	保育支援課	24				
64	妊婦健康診査	保健推進課	24				
65	産婦健康診査	保健推進課	24				
66	こんにちは赤ちゃん事業	保健推進課	25	▶	○ 乳児家庭全戸訪問事業	保健推進課	46
67	新生児訪問指導	保健推進課	25	▶			
68	乳幼児健康診査	保健推進課	25	▶			
69	こども発達相談(心理)	保健推進課	25				
70	妊婦面談事業	保健推進課	26	▶			
71	産後ケア事業	保健推進課	26	▶			
<b>(8)その他様々な悩みを抱える人への支援</b>							
72	相談窓口等での対応	地域福祉課 人権啓発課 ほか	27		(○) ひきこもり相談窓口設置事業	地域福祉課	48
73	地域包括支援センター運営事業	長寿生きがい課	28	▶	○ 地域包括支援センター運営事業	長寿生きがい課	36
74	在宅高齢者介護者リフレッシュ事業	長寿生きがい課	28	▶			
75	介護知識・技術習得教室	長寿生きがい課	28				
76	認知症家族介護者支援事業	長寿生きがい課	28	▶			
77	心身障害者介護支援(レスパイトサービス)事業	障害福祉課	29				
78	障害者日中一時支援事業	障害福祉課	29				
79	宇治市地域防災計画	危機管理室	30				
80	犯罪被害者等支援	総務課	30	▶	○ 犯罪被害者等支援事業	総務課	8